

MARCH

39

令和7年3月
(2025年)

九十九里町

文団協会報

発行: 九十九里町文化団体連絡協議会
事務局: 九十九里町立中央公民館 (☎76-4116)
〒283-0104 千葉県山武郡九十九里町片貝2915番地



作田川沿いで鳴く、春の訪れを告げる鳥「メジロ」。
日本全土に分布していて、森林や低木地帯を好み、環境適応能力が高く住宅地でも見かけます。

みんなで育てよう ふるさと文化

文化継承と維持



九十九里町文化団体連絡協議会

会長 中村 隆久

このところの気候変動により、無類の猛暑が続き、日常生活の対応が段々厳しくなっております。

「災害は、忘れたところにやってくる」。と言われておりますが、令和六年に発生した能登半島地震・豪雨災害は、まさに、二重災害でした。被災地の皆さんの一日も早い復興と被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

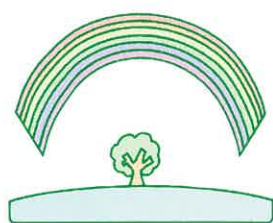
町文化団体連絡協議会は、昭和五十九年に発足し、四十年を過ぎました。そして、平成十六年から長く文化芸術発展のためにご尽力を頂きました、前会長の秋原 勲氏が退任されて、現在は、顧問としてご指導を頂いております。

文化団体も設立当時は、参

加団体（三十二団体）、平成十二年（五十五団体）と隆盛を極めました。しかし、現在では（二十五団体）と高齢化と人口減少の影響を受けております。

昨年の町民文化祭は、日程変更をさせていただき、十一月一日、二日、三日に作品発表、十一月四日に芸能発表となりました。沢山のご来場を賜りまして、誠にありがとうございます。

生活環境が変わるなか、文化芸術に若い世代の方々に興味を持っていただけるような努力をしなければと思っております。



これからも、どうか皆様方の力添えをよろしく願いを申し上げます。

ごあいさつ



教育長 鈴木 弘

本年度、四月一日付けで教育長を拝命いたしました鈴木弘です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃より、中村 隆久会長をはじめ会員の皆様方には九十九里町における芸術・文化・芸能の活動に際しまして、多大なご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、歴史と伝統のある「町民文化祭」は、昭和五十二年から開催されており、今年で四十八回目を迎えました。これも地域の皆様方のご理解とご協力があったことだと、感謝申し上げます。地域に根ざした取り組みは、私たちの暮らしに密着し、人々に感動や生きる喜びをもたら

し、人生を豊かにする素晴らしい魅力があります。また、地域や社会全体の活性化を図る上でも大きな原動力の源となっており、その役割は極めて重要だと考えます。

今年度の芸能発表は、当初の日程を変更しての開催となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、大正琴、詩吟、舞踊、民謡など、二十の演目があり、見応えのある発表でした。また、作品発表においては、二十一の団体から手工芸、書道、写真、文学、草木、美術、読み聞かせなどがありました。一つ一つの発表に皆様のご努力や練習の成果が遺憾なく発揮されており、私自身も心豊かなひと時を過ごし、「芸術の秋」を堪能させていただきました。

結びに、今後も本町の芸術・文化・芸能の普及と継承にご尽力を賜りますようお願いするとともに、「文化団体連絡協議会」の益々のご発展を祈念し、挨拶いたします。

☆☆☆ 新規会員（団体）募集 ☆☆☆

九十九里町文化団体連絡協議会（文団協）は、昭和59年8月に各文化団体相互の協力と理解を深めるために設立されました。文化振興に寄与することを目的として、会員同士の交流と親睦を図り、年間を通じて活発に活動しております。

町民文化祭では、各会員が習得した技術や成果を披露発表しています。

文団協では新規会員（団体）を募集しています。お気軽に中央公民館までお問い合わせください。

一緒に九十九里町の芸術文化を盛り上げていきましょう！

私達の活動

●順不同●



いっきいきクラブは「ボケない、寝込まない、歳とらない」といつまでも元気でいる事をテーマとして舞踊や歌、旅行等で見識を深めつつ活動をしています。

いろいろなイベントの中で敬老の集いや文化祭、地区社協への協力参加、また歳末チャリティ大会等、会員の方々のふれあいの場として社会参加をしています。

いっきいきクラブ会長 秋原勲は二十一年間九十九里町文化団体連絡協議会の会長をさせて頂き、令和六年六月の総会に於いて退任致しました。長きに渡り皆様方のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

そしてこの度、千葉県芸術文化団体協議会より、功労表彰を頂き重ねてお礼申し上げます。今後ともいっきいきクラブの活動はもちろんの事です。が、文化団体連絡協議会の発展の為に尽力をしていきたいと思っています。



生まれ故郷の九十九里に数年前に引越してきました。何かこの先勉強したいという気持ちでいた時、姪の勧めもあり短歌の会に入会致しました。ただ単に文章を書く事と読む事に興味があるというだけの軽い気持ちでの入会でしたので、先輩方の素晴らしい短歌に圧倒され自分自身の無知さ

に嘆きもしましたが、会長さんはじめ先輩方のご指導のもと一生懸命励んでいます。入会して初めて詠んだお歌。私の心境そのものです。
「風薫る 君にさそわれし
短歌会 心の夜明け 知りて
嬉しき」

私にとつて時には、スランプに陥る事もありますが、日々目にする全てに感動し心の豊かさを感じています。短歌の会を理解し（自分磨き）一名でも多くの参加を望んでいます。

勉強会の後の雑談も楽しみの一つです。私は生まれ故郷の恵まれた自然の中でいつか感動を与えられる短歌を詠みたく辞書を片手にペンを握り励んでいます。



詩吟同好会は、男女十二名の会員で、公民館で月二回の日曜日に講師による詩吟レッスンを受講しています。

年間活動は、千葉県地区発表会、全国会員による全国大

会、コロナピア詩吟コンクール、町民文化祭での芸能発表会等があります。適度な緊張で日頃の練習成果を披露しています。

今年の詩吟コンクールでは、千葉地区予選で会員の二名が優勝し、全国詩吟コンクールに出場して優勝を目指しております。

詩吟は、腹式呼吸の発声で健康に非常に良いと言われて、九十歳以上の会員もあり、日頃の練習では元氣な詩吟で年配を若く感じさせる会員が多いです。

詩吟は、絶句や律詩の漢詩、和歌、近体詩など幅広い範囲になつており、尺八や琴の音色で陰音階の伴奏で行います。皆さん、健康によい発声をしたい、好きな和歌など詠じたいなど思う方の詩吟同好会の見学をお待ちしております。





お試し入会の日、リーダーの方の説明を仰ぎ、いざ目の前の粘土を握ね始めた。

ヒヤッ、グニユッ、手には粘土がいつぱい。いやじゃない、やれそう。扱いやすい固さになるまで、久しぶりに集中した時間が持てた。

入会して、そう時間は経っていないので、立派なものは出来ませんが、ニヤリとした



り、アレツと思う作品ばかり。たまに我が家の食事に登場させると、夫が褒めてくれたりする。うん、悪くない。今回は、ペットの食器でも作ろうかな。

作品づくりだけでなく、メンバー皆さんとの出会いは、この会に参加してこそ。いくつになっても、新しいお仲間ができるって、いろいろ刺激があり、誘ってくれた友人に感謝。

カレンダーをめくり、月二回の日曜に、赤いボールペンで印をつけています。



母の残した数枚の着物。着てはみたいものの着方もわからず、ふと町の活動を探したところ、着付同好会のことを知り、見学に行きました。初心者さんからベテランさんまで、



和気あいあいとした雰囲気の中で楽しくお稽古をされているのを見て、もしかしたら私にも自分で着付ができるようになるかもしれない！と、すぐに入会を決めました。

近年では自宅で洗える着物も豊富で、よりカジュアルに着物を楽しめるようになっていくなど感じます。夏の浴衣や普段着物に結ぶ半幅帯にはいろいろな結び方があり、習うのがとても楽しく、また、小紋や紬などに結ぶ名古屋帯のお太鼓結びを、教わりなが



らでも自分で結べた時には感激しました。来年はぜひ日常のワードローブに着物も加えてみたいと思っています。皆さんも少しでも着物や着付けに興味があれば、ぜひ一度体験しにいらしてください。同好会一同、心よりお待ちしております。

地元にもどり、つくも生け花同好会と出会い、月一度のお稽古、お茶をいただきながらの楽しいひととき、毎回来しみます。

二度目の文化祭を迎え、ご指導下さる先生の発想の豊かさ、全体の調和、花材の調達、一つ一つ感心いたします。

当日の生け込みに一人一人の花材が届けられ、それぞれの方が初めての花材と向き合っています。

皆さんお稽古の時と一緒に

で、素早く生け込みを数多くすませます。

私もどうしようと少々戸惑いますが、この方法も勉強になるなとつくづく感じます。

千葉での花展は前もって注文します。

何より皆さんが持参下さる庭の数々の花材です。とても助かります。

会員は少ないですがお仕事したり、日舞を楽しんだり素晴らしい人達です。

是非、お仲間になりませんか。





裕の会では恒例行事として、日頃より勉強をしている日本舞踊を通して年に二回のチャリティ活動をしております。

春は東金文化会館小ホールに於いてチャリティ舞踊会を開催し、能登半島地震へ寄付を致しました。

歳末チャリティ大会ではサンライズ九十九里にて開催し、九十九里町社会福祉協議会を始め地元にて活動をしている各ボランティアグループにチャリティ寄金を致しました。

古典舞踊を学ぶ事により作品に込められた時代を考証しながら歴史にふれ、時代の風俗や先人達の文化に心を馳せながら稽古が続けています。子供達は楽しく、かわゆく、大きな可能性をもってがんばっています。



まずは心身共に健康であり自分の好きな事が出来ることはかけがえのない宝物だと思っています。いつまでも元気で踊れるようにと続けていきたいと思っています。



写真は、フレーミングで決まります。(カメラのファインダーを通して、撮影範囲や構図を決めること)。皆さん、基本を忠実に撮影しております。今年も町内外のイベント(初漁、ふるさとまつり等)で撮影をしました。

文化祭の写真展示では、(会員・一般) 出品数五十点でした。



今は、デジタルプリントが主流でマイプリンターを持ち、プリントされている方が多いです。貴重なフィルムは、写真屋さんをお願いをしています。

感動の瞬間を「捉え」、写真で表現すること。この魅力があるから、写真を長く続けられる秘訣だと思っております。



今年度の文化祭に軸装と額装の計十六作品の展示をし、加えて公民館で常設展示をさせて頂いている色紙八点も出展しました。

長年ご指導頂いた村井豊子先生が、ご高齢のため遠方のお子様宅へ移られ、以後手本に基づき添削して頂く従来の習い方が一時中断することになりました。

そこで「臨書」即ち古今の名筆跡を手本として真似て書く習い方を取り入れ、手始め



に空海(弘法大師)の「風信帖」に挑戦しております。名高い草書の鑑とあがめられている国宝の書と寸分たがわぬコピーを入手出来ましたので、それを臨書してから皆で批評や書法の分析をしたりします。言わば「お大師様」に書を習っているような最近の我が会の研修室です。

しばらくは、このようにいろいろな形で書道の奥深さ、面白さを味わいながら、引き続いて各種展示を励みとして、より良い作品づくりに努力したいと思っております。



昨年、お話しした部屋に子供達が途切れることなく訪れてくれ、その中に初めから最後まで聞いてくれた少女がいました。その日に読み手にもなってくれました。今年は入会し紙芝居をしてくれ、大好評でした。好きこそ物の上手なれと言いますが、エスちゃんに正にその通りでした。私も振り返ってみますと、過ぎた時間の早さに驚くばかりです。十年一昔と言いますが二昔過ぎていました。良い先輩に恵まれ、数え切れない程の教えを受け、その方達はお亡くなりになりましたが、言葉は心の中に生きていて今も勇気づけられています。また県内、館山、浦安、流山等の方々と交流でき、文学散歩では、作家の先生の御案内で著名人の足跡を巡り充実した時を持てたのも、皆読書のお陰でした。何も知らない私が

知ること、少しばかり自信に繋がり、気持ちに余裕が出来た様に感じています。エスちゃんにもその様に思ってもらえるよう、これからも頑張ります。



私は字を書くことが嫌いでした。小学校の時も妹たちは書道を習いましたが、私は珠算教室に通っていました。私は子供のころから、引っ込み思案で、いつも後ろからついていくタイプでした。それ



にひきかえ、妹たちは、書道五段となり、引け目を感じていたのかもしれない。六十歳を過ぎたころ、自分の嫌いなことを少しでもなくしたいと考え、「年寄りの手習い」として、書道を始めました。書道を始めたのは、妹たちの書道五段を意識したかもしれません。それから二年。その後、手話、あみもの教室、歩こう教室と習い事も増えていき、お友達も増え、自分に自信ができました。今では、妹たちにも「ちゃんとした字を書けるようになった」と、ほめてもらえる(?)ようになりました。たくさんのお友達と、楽しい生活を



のため、まだ、元気です。



私たち御殿まり同好会は、現在四名で活動しています。四名全員が高齢者で、段々針目が見にくくなりました。それでもリリヤンが大量にありガンバツてやるしかありません。特に私事で申しわけありませんが、二年前に自転車で転んで右肩を脱臼と剥離骨折の怪我でしばらくお休みをしておりました。後遺症で基本のまり作りが出来なくなり、



小さなまりを作るのがやっとでした。でも仲間のやさしさに助けられて今も続けられて、楽しんでいきます。本当に感謝しありません。その思いで出来た御殿まりを文化祭で発表して、来場者の皆さんから「キレイー」と言ってもらえると嬉しくなります。いつまで続けられるかわかりませんが、公民館に通いたいと思います。少しでも興味を持たれた方は一度見に来ていただけませんか。





大正琴に出会ったのは昭和の終わり頃でした。今はその姿もない豊海公民館の二階和室でスタートです。音楽にあまりかわらず、講師の古川文子先生は、リズムを倍に伸ばし、ご指導されました。

その頃は町内にグループが十六チームあり、先生は多忙な日々です。午前の部、午後の部、夜の部をこな

し、頑張っておられました。年月が過ぎ、現在は私たちのグループだけになってしまいました。高齢者になつてしまい、ご指導下さる石井克子先生にご迷惑をかける日々になっております。

幸いなことに各パートに分かれ、ソプラノ、アルト、テナー、ベースで織りなす合奏



曲です。協力しあいながら仕上がりです。

今年も町文化祭、地区社協主催の「ふれあいお楽しみ会」に参加させていただきまし

た。春には県大会にむけて頑張つてゆきたいと思うこの頃でございます。



あつという間に過ぎた二十余年。日本舞踊は、六歳年上の姉が小学生の頃にやっていたので踊りの傘やレコードがあつたのを懐かしく幼い頃のことを思い出します。その日本舞踊を誘われて始めた悠和会の活動は、思い返すと懐かしい顔、懐かしい曲目、あの時は……と、本当に楽しい思い出ばかりです。

今は、悠和会とつくもいきいきクラブ、時には、豊海地区社協の推進委員も加わり、合同で作品に取り組み、舞台発表をしております。

月二回のお稽古は、楽しく充実した時間で、日本舞踊の基本とその曲目の内容の表現を大切にご指導してくださる辰巳裕寿先生には、感謝、感謝です。皆が覚えやすいように、ユーモアたっぷりのご指導と休憩時間の先輩方の体験談などのお話を聞くことも、

楽しみの一つです。

舞台での緊張感を一緒に味わい、また次の発表を目標にお稽古する時間は、身体のためだけでなく心の支えとなる大切な時間です。



文化祭の展示品をいつも素敵だなあとみていました。

雑誌などの着物で作るかんたん服、直線縫いで簡単に等、気にかかっていたとこ



ろ、知人をお願いして教室に参加させてもらいました。それぞれ特技をもっている方々が先生役で親切に教えていただき、途中で迷っているとアイデアを出してくれ、作品に仕上がります。

普段、針を持つことがほとんどない私でもなんとかなるものですね。捨ててしまうようなはぎれも、つなぎあわせて素晴らしい作品になります。みなさん、みごとな仕事です。

文化祭が近づく、はりきって小物、バッグ、上衣等作品づくりに励みます。同じものを一緒に作ったりして、楽しいひとときを過ごしています。



ダイヤモンドクラブの教室として、月見草の会は発足後、十四年目を迎えようとしています。

今年度は、福祉施設への慰問や、町の敬老祭、芸能発表会や老人クラブ連合会の芸能発表会への参加と忙しい一年でした。

前に踊った曲をおしえあったり、祭りはんで踊る元気な曲も取り入れてお稽古しています。大勢の方と踊ると、



那須富子

楽しく身体も温まり、若返っていくようです。

「私も踊ってみたい。」と思われた方は、遠慮なく見学にいらして下さい。

※会員一同、皆様の入会をお待ちしています。

※練習日 毎月 第一・第三

火曜日

時間 十三時三十分～

十六時頃まで



安達和夫

九十九里郷土研究会（会員数・四十九名）では、毎月第三土曜日の例会に加え、今年度新たに妙覚寺の一角に設けられた僧房を「三治郎文庫」としてリニューアルし、郷土にまつわる数々の史料や文化財を納め展示する施設を設けました（ちなみに、三治郎は郷土が生んだ英傑伊能忠敬翁の幼名です）。

展示物は、九十九里町誌や



関連の資料集をはじめ、いわし博物館に収蔵されていた町の建物や漁業や生活の様子などを記録した写真パネル、昭和中期の市街地図など数点に及びます。今後は、毎月最終土曜日に妙覚寺で行っており、れる子ども食堂とコラボし、子供たちへの読み聞かせの会などを企画する予定です。

また、十一月一日から三日間開かれた九十九里町文化祭にも三治郎文庫に所蔵している資料の一部を出展し、元気な頃の九十九里を追体験できるコーナーも設けたところ、多くの方から感銘を受けた旨の感想を頂きました。



竹内寿子

友遊おもちゃ図書館では、沢山のおもちゃで遊び、気に入ったおもちゃを家でも楽しく遊べるように無料で貸し出しています。

九十九里町では子育て支援センターの活動の中で就園前のお子様に、月一回保健福祉センターで開館しています。また、東金マザーズホームでも障害のあるお子様に月一回移動おもちゃ図書館を開いています。

親御さんもボランティアもお子様の発達が見れる感動で、思わず笑顔になれます。

さて、十二月はつくも学遊館で毎年恒例のクリスマス会の予定です。今年は誰の紙飛行機が遠くまで飛ぶかな？楽しみです。



活動するにあたり、多くの方々のご理解とご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

第48回 町民文化祭



令和6年11月1日～3日
作品発表会



写真会



つくも生け花
同好会



千景山草会



横鉄同好会



リメイク教室
(ダイヤモンドクラブ)



陶芸同好会



御殿前同好会



皇海かな書道同好会



書道同好会



郷土研究会



潮音読書会



スタンドグラス
同好会

令和6年11月4日 芸能発表会



大正琴 なぎさ



詩吟同好会



裕の会(竹内 恵)



裕の会(千葉山 純)



裕の会(小栗山 楓)



月見草の会
(ダイヤモンドクラブ)



詩舞同好会(高橋 世志美)



詩舞同好会(古川 愛敬美)



悠和会
(中村 華代子)



悠和会
(小澤 君代)



舞踊同好会
(高柳 文代)



悠和同好会
(桜井 憲子)



詩舞同好会
(田嶋 あき子)



舞踊同好会
(浅岡 利子)



舞踊同好会
(中村 幸子)



月見草の会
(ダイヤモンドクラブ)



つくもいきいきクラブ
(須原ななよし会)



つくもいきいきクラブ



詩舞同好会
(幸地 さだ子)



裕の会
(秋原 芳枝)

たくさんのご来場ありがとうございました

令和6年度 功労表彰

千葉県芸術文化団体協議会功労表彰として、秋原 勲顧問、小高英明副会長が表彰されました。

秋原顧問は、「いきいきクラブ」に会長として在籍し、美化活動や芸術文化活動を通じて高齢者の社会参加を呼びかけ、生涯学習に力を入れています。平成16年から20年間九十九里町文化団体連絡協議会の会長を務められ、令和6年からは顧問として町の文化・芸術の発展及び振興に尽力されています。また、平成27年から6年間千葉県芸術文化団体協議会会長を務め、県の文化振興にも力を入れました。

小高副会長は、平成14年から10年間、九十九里町郷土芸能連絡協議会長として、町の芸能伝承に寄与されました。また、「花と緑を育てる会」では、設立当初から現在まで在籍し、遊休農地を利用したポピーや野菜の植栽、ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。平成18年から18年間、九十九里町文化団体連絡協議会の副会長として、町の文化・芸術の発展及び振興に尽力されています。



九十九里町文化団体連絡協議会 役員名簿

令和6年4月1日～
令和8年3月31日

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	中 村 隆 久	事業部長	高 柳 文 代
副会長	小 高 英 明	事業副部長	高 橋 礼 子
	古 川 一 美	広報部長	中 村 喜代子
会 計	竹 内 寿 子	広報副部長	草 野 奈美子
監 事	幸 地 さだ子	顧 問	秋 原 勲
	齊 藤 美恵子	事務局長	鐘 田 貴 賜

令和6年度 町文化団体連絡協議会参加団体

登録順

No.	団 体 名	代 表 者	No.	団 体 名	代 表 者
1	写友会	中村 隆久	14	潮音読書会	齊藤 洋子
2	短歌同好会	古川 一美	15	豊海かな書道同好会	子安 節子
3	千葉山草会	杉原 興	16	美春会	鈴木 喜美江
4	九十九里コーラス(愛)	並木 秀子	17	御殿まり同好会	松本 時子
5	詩吟同好会	関谷 真佐子	18	ステンドグラス同好会	齊藤 洋子
6	陶芸同好会	松木 加津江	19	大正琴	内山 いつ
7	着付同好会	川島 栄子	20	花と緑を育てる会	古川 光起
8	つくも生け花同好会	中村 喜代子	21	悠和会	真野 美智子
9	裕の会	秋原 芳枝	22	友遊おもちゃ図書館	竹内 寿子
10	詩舞同好会	幸地 さだ子	23	リメイク教室(ダイヤモンドクラブ連合会)	山田 康夫
11	舞踊同好会	高柳 文代	24	月見草の会(ダイヤモンドクラブ連合会)	山田 康夫
12	いきいきクラブ	秋原 勲	25	郷土研究会	大矢 吉明
13	書道同好会(中公)	山本 恒夫			

●それぞれの同好会ではいろいろな趣味、活動を通しての新しいメンバーの参加をお待ちしております。